令和２年度　都城市立東小学校　学校関係者評価書

（４段階評価　｜　４：期待以上　　３：ほぼ期待どおり　　２：やや期待を下回る　　１：改善を要する）

【学校経営ビジョン】

「チーム東小～東小プライド・３Ｃ１Ｓ・東小の５氣」等をキーワードとし、１００周年という「よき伝統の継承」を念頭に置き、「創造・工夫による改善」を図りながら、未来に向けた「新たな伝統の創造」を目指すことを教育理念とする。そして、全ての教職員の共通理解・共通実践を基盤として、「児童の確かな学力の向上」に力を入れるとともに、「東小ならではの教育活動」を展開し、保護者や地域住民の信頼と期待に応えられる「開かれた学校づくり」を推進する。

| 重点目標 | 主な達成手段 | 結果の考察・分析・改善策等 | 自己評価 | 関係者評価 | 学校関係者評価委員の意見 |
|---|---|---|---|---|---|
| 知育<br>基礎・基本の確実な定着と学力の向上 | １　Ｗｅｂ単元評価問題の活用を図り、単元テストにおいて、学級における平均点が「期待平均点＋５点」以上を目指すように指導の徹底を図る。 | １　授業が分かると答えた児童が８５％以上であり、更に個別指導を徹底し学力下位層の引き上げに努める必要がある。 | ２．９ | ３．２ | ○　コロナ禍により教育環境が変化する中でも落ち着いて学習に取り組んでいた。<br>○　授業を参観して表現力が着実に向上していることを実感した。<br>○　読書に対する取組がしっかりなされており、分かる授業が学力向上に貢献していると思われる。読み聞かせの活動中止期間があったが、継続できるように協力体制を考える。 |
| | ２　妻ケ丘地区小中一貫教育学力向上に係る取組を通して、児童の学力向上を目指した授業実践を推進する。 | ２　教科を絞ってグループ研究を行い、授業改善を図ってきた。今後、評価の在り方について研修を行う。 | ３．０ | ３．４ | |
| | ３　図書館サポーターと連携し、読書量調査を活用し、児童一人一人の貸出数を増やすと共に、多読賞受賞者数の増加を推進し、児童の読書力の向上を図る。 | ３　学校での図書貸出数は２学期末で４２５７９冊と昨年度以上である。中身のある読書と家庭でも読書の習慣ができる方策を講じていく必要がある。 | ３．０ | ３．２ | |
| 徳育<br>基本的な生活習慣の定着と豊かな心の育成 | １　重点指導事項を活用した生活指導を実施し、「無言清掃・あいさつ(会釈)・廊下歩行・履き物並べ・立腰」等の達成率８５％以上を目指す指導を推進する。 | １　返事・あいさつの声が小さく、礼や会釈も同時に指導している。特に廊下歩行が守れないので、歩き方の指導とともにその場指導を行っている。 | ２．８ | ３．２ | ○　日頃の様子からあいさつ指導や交通安全指導が行き届いていることが分かる。地域でもよくあいさつをしている。<br>○　学力と同時に道徳や体験活動の充実を図ってほしい。<br>○　保護者の意見の中に「いじめ」「あだ名」「先生の対応」等、一部だが意見があったので、善処していく必要がある。 |
| | ２　アンケートにおける「学校が楽しい」と回答する児童の達成率が９５％以上になるように、道徳の時間の指導及び体験活動の充実を図る。 | ２　約９０％の児童が「楽しい」と回答している。コロナ禍での臨時休業が影響しており、見守りと指導に必要である。 | ３．１ | ３．４ | |
| | ３　学校安全計画・学校安全アクションプランに基づく避難訓練（年３回）及び安全指導を実施し､「自分の命は自分で守る」児童の育成を図る。 | ３　火災の避難訓練を延期している。「自分の命は自分で守る」観点から、予告なしの訓練を検討していく必要がある。 | ３．２ | ３．４ | |
| 体育<br>基礎体力の向上と健康的な生活習慣の定着 | １　昨年度の体力テストの結果を踏まえ、Ｔスコア５０以上の種目を男子２５、女子２０以上になるように、Ｄ・Ｅ判定児童の割合が男子２３％、女子２５％以下になるように、体力向上プランに基づく指導を徹底する。 | １　授業の初めの時間に「東っ子補助運動」による上半身の筋力の向上を図っている。持久走大会では１年女子、２年女子、４年男子の３種目で大会新記録が出た。本年度は水泳指導を実施しなかった。 | ２．７ | ３．３ | ○　体育に好き嫌いの差はあると思うが、苦手な子どもに体を動かすことの大切さをを教え、集団活動の場を広げてほしい。<br>○　家庭で食事の手伝いをさせ、食への関心を育て役に立つ喜びを学んでほしい。<br>○　保護者の意見で「喘息の持病があるのに持久走は？」というのがあったので考慮しなければいけない。 |
| | ２　重点指導事項を活用した生活指導を実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」等の達成率８５％以上を目指す指導を推進する。 | ２　目標を達成できていない。家庭で過ごすことも多く指導が行き届かなかった。今後も家庭へ協力を依頼していく。 | ２．９ | ３．１ | |
| | ３　「親子料理・弁当の日」等の実施に向けて、関係機関等と連携し「食に関する指導」を計画的に推進する。 | ３　夏休みに「親子料理」を実施した。参観日も設定できなかったので、家庭や地域にも情報発信できる方策を講じたい。 | ２．７ | ３．０ | |
| ふるさと教育<br>家庭・地域との連携と開かれた学校づくり | １　学校だよりを毎月発行し、ＨＰの更新を頻繁に行い、保護者や地域の学校の教育活動への理解を深める。 | １　紙ベースでの配付を避けるため、学校だよりは９月から控えた。現状から逆に情報がほしかったという意見があった。 | ３．２ | ３．３ | ○　紙面での学校だより発行を控えたということだが、保護者が希望するのであれば積極的に情報発信して相互理解を図る必要がある。<br>○　今年度は特に学校のありがたさを感じた保護者が多かったと思う。<br>○　地域とのつながりと情報共有の観点から学校と民生児童委員との交流を年１回でも希望する。 |
| | ２　地域人材・素材を積極的に活用するとともに妻ケ丘地区の活動への協力を推進する。（キッズＷＳ） | ２　キッズワークショップを延期したにもかかわらず実施できなかった。連絡体制を整備し、引き続き活用を図っていく。 | ２．８ | ３．０ | |
| | ３　学校運営協議会（年５回）を開催するとともに、地域学校協働本部活動を生かしながら、本校の教育活動の工夫・改善を図る。 | ３　３回までは計画的に実施できた。コロナ禍で教育活動が制限され、工夫・改善が図れなかった。 | ３．０ | ３．０ | |